

# 福音を伝える責任

2024年6月2日

**Messenger 新田栄子 Director**

**Worship Leader Akiho**

私には、自分のしていることが分かりません。

自分がしたいと願うことはせずに、

むしろ自分が憎んでいることを行っているからです。

ですから、今それを行っているのは、もはや私ではなく、

私のうちに住んでいる罪なのです。

ローマ人への手紙 7章 15、17節

さて、ツアラアトに冒された四人の人が、  
町の門の入り口にいた。彼らは互いに言った。

「われわれはどうして死ぬまでここに座っていなければ  
ならないのか。たとえ町に入ろうと言ったところで、  
町は食糧難だから、われわれはそこで死ななければならぬ。  
ここに座っていても死ぬだけだ。

さあ今、アラムの陣営に入り込もう。

もし彼らがわれわれを生かしておいてくれるなら、  
われわれは生き延びられる。

もし殺すなら、そのときは死ぬまでのことだ。」

列王記第二 7章 3～4 節

彼らは互いに言った。

「われわれのしていることは正しくない。

今日は良い知らせの日なのに、われわれはためらっている。  
もし明け方まで待っていたら、罰を受けるだろう。

さあ、行こう。行って王の家に知らせよう。」

列王記第二 7章 9 節

私は、ギリシヤ人にも未開人にも、  
知識のある人にも知識のない人にも、  
返さなければならない負債を負っています。  
ですから、私としては、ローマにいるあなたがたにも、  
ぜひ福音を伝えたいのです。

ローマ人への手紙 1 章 14～15 節 新改 3 版

ご覧なさい。私は今、御霊に縛られてエルサレムに行きます。  
そこで私にどんなことが起こるのか、分かりません。  
ただ、聖霊がどの町でも私に証しして言われるのは、  
鎖と苦しみが私を待っているということです。  
けれども、私が自分の走るべき道のりを走り尽くし、  
主イエスから受けた、神の恵みの福音を証しする  
任務を全うできるなら、  
自分のいのちは少しも惜しいとは思いません。

使徒の働き 20 章 22～24 節

というのは、私が福音を宣べ伝えても、  
それは私の誇りにはなりません。そのことは、  
私がどうしても、しなければならないことだからです。  
もし福音を宣べ伝えなかったなら、私はわざわいだ。

コリント人への手紙第一 9 章 16 節 新改 3 版

## 【まことに血を流した】

1. まことに 血を流した イエスの愛の中で  
十字架に従って 命を捧げるか  
福音の火が燃える 共に立ち上がれ  
栄光の主の御国 共に賛美しましょう！
  
2. まことに 聞こえるよ 救いの良き知らせ  
福音を伝えるには 犠牲を覚悟する  
救いは我ら 真理を治める主  
我らは天に行き 神の子どもになる

## 考えてみましょう

- ・ お話を聞いてどのような感じましたか？
- ・ 今、福音を一番伝えたい方はどなたですか？
- ・ 福音を伝えることができるよう共に祈りましょう